

平成30年度 守口市まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置づける取組一覧

資料3

取組No.	基本目標	基本的方向	指標の名称 (KPI)	初期値 (年度)	めざす値 (H31)	実績値 (H30)	主担当課	関係課	具体的な取組	具体的な取組の文章	区分
1-1-1	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる	結婚したいと思う若い世代の活動を支援する	提供した情報資料の種類の数	未実施	20	7	こども政策課		若い世代がライフデザインを考える機会の提供	若い世代が、結婚・子育てなどの将来の人生設計(ライフデザイン)を考えるきっかけをつくるために、様々な制度や相談窓口などの情報提供を充実します。	新規
1-1-2	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる	結婚したいと思う若い世代の活動を支援する	若い世代が出会い、交流する機会を増やすため、関係機関が実施するイベント等の支援件数	未実施	3件	10件	地域振興課		若い世代が出会う機会創出の支援	結婚したいと思う世代(社会人)が、よい人と巡り合うことができるように、趣味を同じくする人の交流機会など、若い世代が出会い、交流する機会を増やすため、関係機関が実施するイベント等を支援します。	新規
1-1-3	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる	結婚したいと思う若い世代の活動を支援する	乳幼児とのふれあい体験活動の実施回数	全8中学校で各校1回の実施 (H27)	全8中学校で各校複数回の実施	全中学校、義務教育学校にて幼稚園等での職場体験を実施(2~4日)。	学校教育課	こども施設課	乳幼児とのふれあう機会の提供	中学校に対して、子どもを生み育てることの意義を理解し、男女共同して家庭を築く大切さを感じることができるように、職場体験の一貫として、認定こども園、幼稚園及び保育所を訪問するなどの幼い子どもとふれあう機会を提供します。	拡充
1-1-3	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる	結婚したいと思う若い世代の活動を支援する	外部講師や出前授業の活用回数	未実施(H27)	25校	1校 子育て支援センターで中学校の職場体験受け入れ	子育て支援課	学校教育課	乳幼児とのふれあう機会の提供	中学校に対して、子どもを生み育てることの意義を理解し、男女共同して家庭を築く大切さを感じることができるように、職場体験の一貫として、認定こども園、幼稚園および保育所を訪問するなどの幼い子どもとふれあう機会を提供します。	拡充
1-2-1	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる	若い世代の妊娠・出産を支援する	両親教室の受講率	77.1% (H26)	100%	67.3% * 休日は9月開催分が台風24号により中止のため5回開催です。	健康推進課		妊娠・出産についての情報提供・相談	若い世代の妊娠・出産についての悩みや不安を軽減するために、情報提供や相談を行います。	継続
1-2-2	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる	若い世代の妊娠・出産を支援する	妊婦健康診査の受診率	96.1% (H26)	100%	98.6% (H30年度12月末時点妊婦健康診査券発行数806件、うち1枚目利用数795件)	健康推進課		妊婦健康診査の受診費用の助成	母子の健全な出産のために、健診の定期的な受診に伴う妊婦の経済的な負担を軽減するための助成金を支給します。(平成27年度に助成額を91,000円から120,000円に拡充。)	継続
1-2-3	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる	若い世代の妊娠・出産を支援する	妊婦歯科健康診査の受診率	86.7% (H27.4~H27.9) 82.2% (H27.4~H28.3)	100%	49.4% * 休日9月開催分が台風24号により中止で11回開催のため、定員はH30年度は160人	健康推進課		妊婦健康診査の検査項目の充実	早産や低体重児出産などを防ぐために、妊婦健康診査の検査項目に歯科健康診査を追加します。(平成27年度から実施。)	継続
1-2-4	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる	若い世代の妊娠・出産を支援する	不妊検査費用助成の申請者数	未実施 (H27)	150件	65件	健康推進課		不妊治療に関わる医療に対する費用の経済的支援	子どもが欲しいと望んでいるにも関わらず、子どもに恵まれない夫婦に対して、不妊かどうか正しく判断し、適切な治療を受ける機会を支援するために、不妊検査に要する費用の一部を助成します。また、不妊治療に関わる医療の動向を見据え、不妊治療に対する支援策を検討します。	継続
1-2-5	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる	若い世代の妊娠・出産を支援する	協力機関数	未実施 (H27)	1機関	訪問型は1医療機関、宿泊型は助産師会の協力により提供。30年度末までの利用件数は宿泊型4件(のべ22泊)、訪問型5件(のべ10回)。	健康推進課		産後ケアの取り組み	出産後において、不安や体調不良のある母子に対して、母親への心身のケアや育児サポートなどが受けられる環境の整備を検討します。	新規
1-3-1	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる	若い世代の子育てを支援する	ホームページアクセス数	10,400件(H26)	11,440件	24,978件	子育て支援課		子育てについての情報提供・相談	利用者が子ども・子育て支援給付や地域子ども・子育て支援事業及びその他の子ども・子育て支援事業を円滑に利用できるように支援するとともに、子育て支援センターにおいて、子育てに対しての悩みや不安を軽減するための情報提供や相談を実施します。また、ホームページやSNS等を活用して分かりやすく情報を発信します。	継続

平成30年度 守口市まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置づける取組一覧

資料3

取組No.	基本目標	基本的方向	指標の名称 (KPI)	初期値 (年度)	めざす値 (H31)	実績値 (H30)	主担当 課	関係課	具体的な取組	具体的な取組の文章	区分
1-3-2	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる	若い世代の子育てを支援する	地域子育て支援拠点事業及びママカフェなどの交流機会の利用者数	子育て及び子育て支援に関する講習等の実施 4,197人(H26)	子育て及び子育て支援に関する講習等の実施 4,400人	3,449人	子育て支援課	コミュニティーセンター所管課	子育てをしている親子のつながりづくりの支援	・子育てをしている親子がつながりを広げられるように、子育て支援センター及び認定こども園等における地域子育て支援拠点事業を推進するとともに、若い世代等の声を取り入れて、子育て中のお母さんが集えるカフェを設けるなどの交流機会の提供を検討します。	拡充
1-3-2	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる	若い世代の子育てを支援する	地域子育て支援拠点事業及びママカフェなどの交流機会の利用者数	①ママカフェ 25人(H26) ②ママのためのハッピー講座 48人(H26)	①ママカフェ40人 ②ママのためのハッピー講座60人	①ママカフェ 88人 ②ママのためのハッピー講座 23人	コミュニティ推進課 生涯学習・スポーツ振興課		子育てをしている親子のつながりづくりの支援	・子育てをしている親子がつながりを広げられるように、子育て支援センター及び認定こども園等における地域子育て支援拠点事業を推進するとともに、若い世代等の声を取り入れて、子育て中のお母さんが集えるカフェを設けるなどの交流機会の提供を検討します。	拡充
1-3-3	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる	若い世代の子育てを支援する	子どもの通院及び入院に係る医療費の助成額	168,556,223円 (H26)	480,000,000円	412,727,501円 (扶助費実績)	子育て支援課		子ども医療費の助成	・子どもの健やかな育ちを実現するために、通院及び入院に係る医療費の一部を助成します。(平成27年度から、通院医療費助成の対象を小学校就学前までから中学校卒業の年度までに拡充。所得制限を撤廃。)	継続
1-4-1	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる	魅力ある学校教育を提供する	全国学力・学習状況調査の学習状況調査の回答率	<朝食を食べる> 小学校 92.3% 中学校 89.2% <家庭での学習を全くしない> 小学校9% 中学校10.1% (H27)	<朝食を食べる> 小学校 95% 中学校 93% <家庭での学習を全くしない> 小学校3% 中学校5% (H31)	<朝食を食べる> 小学校等 92.3% 中学校等 88.0% <家庭での学習を全くしない> 小学校等 4.7% 中学校等 13.2%	学校教育課		基本的な生活習慣や家庭での学習習慣の定着の推進	・「早寝早起き朝ごはん」などの基本的な生活習慣の確立や、家庭での学習習慣の定着に向け、家庭への働きかけを行うなどの取組を推進します。	拡充
1-4-2	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる	魅力ある学校教育を提供する	施設一体型小中一貫校の開校数	未実施 (H27)	1施設 (H28)	1施設	学校管理課	—	施設一体型小中一貫教育校の整備	・小規模化により統合したさつき小学校と、小規模校である第三中学校との施設一体型小中一貫校を平成28年4月に開校し、小中一貫教育をより一層推進します。	完了
1-4-3	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる	魅力ある学校教育を提供する	新築校舎による統合新設校の開校数	未実施 (H27)	2校 (H30)	2校	学校管理課	—	小学校の統合と新設校の整備	・児童数の減少による学校規模の小規模化、また、校舎の老朽化が進んでいることから、より良い教育環境を確保するため、同一の中学校区、学校間の距離、統合後の学級数、子どもたちへの負担等を勘案し、統合を進めます。 ・平成28年4月に東小学校と大久保小学校を統合し、現東小学校を仮校舎としてよつば小学校を開校した後、現大久保小学校敷地に校舎等を整備します。 ・平成30年4月に寺方小学校と南小学校を統合し、新設校を開校します。そのため、旧第二中学校跡地に校舎等を整備します。	完了
1-4-4	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる	魅力ある学校教育を提供する	新築校舎による統合新設校の開校数	未実施 (H26)	1校 (H27)	1校	学校管理課	—	中学校の統合と新設校「樟風中学校」の整備	生徒数の減少により学校規模の小規模化が進んでいることから、学校規模の適正化を図り、より良い教育環境を確保するため、平成27年4月に第二中学校と第四中学校を統合し、新しい校舎において新設校「樟風中学校」を開校しました。	完了

平成30年度 守口市まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置づける取組一覧

資料3

取組No.	基本目標	基本的方向	指標の名称 (KPI)	初期値 (年度)	めざす値 (H31)	実績値 (H30)	主担当課	関係課	具体的な取組	具体的な取組の文章	区分
1-4-5	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる	魅力ある学校教育を提供する	全国学力・学習状況調査の学力調査の平均正答率	全国・府を下回っている (H27)	全国水準へ向上させる	全国()内・府を下回っている 小国A66.9(70.7) 小国B48.8(54.7) 小算A60.8(63.5) 小算B47.9(51.5) 中国A75.3(76.1) 中国B58.8(61.2) 中数A63.4(66.1) 中数B44.2(46.9)	学校教育課		学力向上に向けた取組	・学習意欲の向上や家庭での学習習慣の定着を図るため、授業及び放課後学習教室において児童・生徒への学習支援を行うサポーターを小・中学校に派遣します。 ・学校と家庭との連携による家庭での学習習慣の定着や、児童・生徒の自学自習力を向上するため、「家庭学習リーフレット」や「家庭学習冊子」を配布します。 ・中学校において、少人数指導や放課後補充学習などきめ細かな指導を行うため、市の独自の取組として、職員を多く配置(加配)します。 ・子どもたちの9年間の学びを支えるために、各中学校区単位で、教職員による相互参観、合同授業研究会などを実施し、小中一貫教育を推進します。	拡充
1-4-6	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる	魅力ある学校教育を提供する	①英語教育支援員の活用時数 ②英語指導助手の活用時数	①35時間/1クラス (H27) ②32時間/1クラス (H27)	①35時間/1クラス ②35時間/1クラス	①20時間/1クラス ②35時間/1クラス <small>(参考) 英語教育支援員は中学校では未実施、小学校では31年度から廃止。 英語指導助手は小学校においてでも人材育成基金事業として実施(30年度実績:10時間/クラス)</small>	学校教育課		英語教育の充実	・小学校5年生・6年生が、英語に慣れ親しみ積極的にコミュニケーションを図ることができるように、英語が堪能な日本人の英語教育支援員を小学校に配置します。 ・コミュニケーション活動を軸とした外国語授業の充実を図るため、中学校に英語指導助手を配置します。	拡充
1-4-7	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる	魅力ある学校教育を提供する	教育用パソコン1台あたりの児童生徒数	7人	3.6人以下	3.6人/台	教育センター	学校教育課	ICTを活用した教育の充実	・子どもの学ぶ意欲や情報活用能力の向上、子ども主体の授業づくりのため、小学校・中学校の全普通教室に整備している電子黒板や書画カメラの有効活用、タブレットパソコンやデジタル教科書の導入、ICT支援員の配置などICTを活用した教育を充実します。	拡充
1-4-8	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる	魅力ある学校教育を提供する	認定こども園、保育所、幼稚園1箇所当たりの「おはなし会」の開催回数	年1回 (H27)	年5回	市立園の平均年間3回 (ボランティアによる読み聞かせ)	こども施設課		読書に親しむ環境づくり	・本と接する喜びなど読書の楽しさに気づきかけを作るため、認定こども園、保育所や幼稚園等で絵本の読み聞かせを行う「おはなし会」を開催します。	拡充
1-4-8	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる	魅力ある学校教育を提供する	中学校区あたりの学校司書の活用時数	912時間/1年間	1,050時間/1年間	1,040時間/1年間	学校教育課		読書に親しむ環境づくり	・児童・生徒が読書に親しむ環境を整備するため、中学校区を単位として司書を配置します。	拡充
1-4-9	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる	魅力ある学校教育を提供する	毎朝朝食を食べる子どもの割合	—	95%	認定こども園等97.1% 小学校等92.3% 中学校等88.0% ※義務教育学校前期課程は、「小学校等」に含む。義務教育学校後期課程は、「中学校等」に含む。	こども施設課 保健給食課	学校教育課	食育の充実	・生涯にわたって生き生きと暮らしていくためには、自分の健康は自ら守るという考えのもと、成長の源となる「食の大切さ」に関し、正しい理解を養うことが必要であることから、認定こども園、保育所、幼稚園、市立小学校・中学校において、給食などを通じた食育の取組を充実します。	拡充
1-4-10	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる	魅力ある学校教育を提供する	①学校ボランティアのべ人数 ②児童生徒の自己肯定感	①小・中学校25校 各校10人/月 120人 ②小15校 中7校 小54.06 小6 3.99 中1 4.01 中2 3.93中3 3.92	①小・中学校25校 各校15人/月 のべ180人 ②小全校 中全校 小5 4.2 小6 4.2 中1 4.1 中2 4.1 中3 4.1	①小・中・義務教育学校21校 各校12人/月のべ500人 ②小・中・義務教育学校 小5 4.10 小6 4.07 中1 4.09 中2 4.10 中3 4.06	学校教育課 生涯学習・スポーツ振興課		学校・家庭・地域が一体となった教育コミュニティづくりの推進	・子どもたちの9年間の学びを支えるために、学校、家庭、地域の連携による学校支援地域本部を中学校区毎に設置し、クラブ活動や外国語学習等の授業の支援、地域の伝統文化の継承、キャリア教育などに地域ぐるみで取り組みます。 ・子どもたちが望ましい人間関係を築き充実した生活を送れるよう、ありのままの自分を肯定的に認めること、自分らしさが好きになること、身近な人間関係の中で自分を価値ある存在と考えること等を培うため、学校、家庭、地域が連携し、一人ひとりの子どもを大切に取組を進めます。	拡充

平成30年度 守口市まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置づける取組一覧

資料3

取組No.	基本目標	基本的方向	指標の名称 (KPI)	初期値 (年度)	めざす値 (H31)	実績値 (H30)	担当 課	関係課	具体的な取組	具体的な取組の文章	区分
1-5-1	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる	安心して子どもを預けることができる保育サービスを提供する	市立認定こども園の施設数	0園 (H27.4.1)	3園	3園	こども施設課		市立幼稚園・市立保育所の再編整備(市立認定こども園の新築等)	・就学前の教育・保育サービスは民間事業者からの提供を基本的な考え方とし、市立幼稚園・市立保育所を、私立認定こども園へと移管するものと、集約化して市立認定こども園として整備するものとに再編します。 ・市立認定こども園は、市立小学校と一体的な環境を保つようにするため、新築により整備します。	新規
1-5-2	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる	安心して子どもを預けることができる保育サービスを提供する	民間事業者から提供される就学前教育・保育を利用する市内在住子どもの割合	66% (H27)	90%	100%	こども施設課		民間事業者への財政的支援	・私立幼稚園の認定こども園への移行や、民間事業者における障がい児や配慮を必要とする子どもの教育・保育のための施設の整備や体制の確保を促進するため、民間事業者に対する財政的支援を行います。	拡充
1-5-3	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる	安心して子どもを預けることができる保育サービスを提供する	私立幼稚園に通う子どもの保護者負担に対する市立幼稚園に通う子どもの保護者負担の割合	42% (H27)	100%	100%	こども施設課		民間園に在園する園児の保護者に対する補助	・市立幼稚園又は市立認定こども園と民間園の費用が異なることから、民間園に在園する幼児の保護者の負担を軽減するため、保育料等の一部又は全部を補助します。	完了
1-5-4	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる	安心して子どもを預けることができる保育サービスを提供する	ファミリーサポート会員数	407名(H26)	507名	615名	子育て支援センター		ファミリーサポート事業	・子育ての相互援助の仕組みであるファミリーサポートセンターが適切に運営されるように、依頼者(利用会員)と協力者(協会員)の会員数の拡大に取り組むとともに、協会員のスモールアップを支援するための講習会を開催します。	拡充
1-5-5	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる	安心して子どもを預けることができる保育サービスを提供する	病児・病後児保育を行う認定こども園又は保育所の箇所数	2 (H27)	4	2 令和元年度に、1カ所増設予定	こども施設課		病児・病後児保育の実施	・病児、病後児の保育の確保を図るため、病児・病後児保育を実施する施設の充実を検討します。	拡充
2-1-1	安心・快適・便利に暮らせる大都市に隣接した居住地にする	若い世代が魅力を感じる住宅供給の促進と市内での住み替えを促進する	不燃領域率	37.4 (大日・八雲地区) 29.3 (東部地区) (H27)	40.0 (大日・八雲地区) 40.0 (東部地区) (H32)	◆実績値(H30.3時点) ・33.5%(大日・八雲地区) ・30.0%(東部地区)	住宅まちづくり課		密集市街地の再整備における若い世代向け住宅の供給促進	・防災性と住環境の向上などを旨とした密集市街地の再整備により、若い世代の定住につながるような魅力あるまちづくりを促進します。	拡充
2-1-2	安心・快適・便利に暮らせる大都市に隣接した居住地にする	若い世代が魅力を感じる住宅供給の促進と市内での住み替えを促進する	平成26年度新築分譲戸建住宅 152戸 新築分譲マンション(ファミリータイプ) 189戸 合計 341戸	新築分譲戸建住宅 152戸 新築分譲マンション(ファミリータイプ) 189戸 合計 341戸 (H26)	新築分譲住宅 200戸 分譲マンション 200戸 合計 400戸	◆実績値(H31.3時点) 新築分譲住宅 202戸 分譲マンション590戸	住宅まちづくり課		若い世代が魅力を感じる住宅の供給促進	・住宅の購入を検討している若い世代(一次取得者)に、市内で理想の住まいが見つかるように、設計事務所や不動産事業者への情報提供などを通じて、子育てをしながら守口で暮らしたいと魅力を感じる住宅の供給を促進します。	新規
2-1-3	安心・快適・便利に暮らせる大都市に隣接した居住地にする	若い世代が魅力を感じる住宅供給の促進と市内での住み替えを促進する	空き家の実態把握はこれから行うため、指標は未定	平成20年統計調査による 空き家数 11,610戸	空き家数 10,000戸	H28年度実施の守口市空き家等実態調査での空き家数は1,570件	住宅まちづくり課	都市計画課	空き家の実態把握と活用方策の検討	・空き家が適切に活用されるように、空き家の実態把握に取り組むとともに、その対応や活用方法を検討します。	新規

平成30年度 守口市まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置づける取組一覧

資料3

取組No.	基本目標	基本的方向	指標の名称 (KPI)	初期値 (年度)	めざす値 (H31)	実績値 (H30)	主担当課	関係課	具体的な取組	具体的な取組の文章	区分
2-2-1	安心・快適・便利に暮らせる大都市に隣接した居住地にする	若い世代が安心して暮らせる大都市に隣接した居住地にする	防犯対策について、地域、行政、警察等と連携して検討する会議を開催する回数	4回/1年 (H27)	6回/1年	5回/1年	危機管理室		子育て親子や地域の声を取り入れて、公園や防犯まちづくりの取組	誰もが安心して暮らせるように、子どもたちや子育て中の保護者、地域団体等の声を取り入れて、公園や高架下などの暗がり対策を検討するなど治安に不安を感じる問題点を共有するとともに、不安軽減に向けた取組を地域と行政、警察等の連携により推進します。	拡充
2-2-2	安心・快適・便利に暮らせる大都市に隣接した居住地にする	若い世代が安心して暮らせる大都市に隣接した居住地にする	防犯灯のLED化率	約97% (H27)	100%	LED防犯灯 約99%	コミュニティ推進課、危機管理室		LED防犯灯及び防犯カメラの設置	明るいまちづくりを進めていくために、市内の防犯灯のLED化を進めています。また、自治会等が設置しているLED防犯灯の電気代を補助します。	拡充
2-2-2	安心・快適・便利に暮らせる大都市に隣接した居住地にする	若い世代が安心して暮らせる大都市に隣接した居住地にする	防犯カメラ設置台数	58台 (H26)	1,068台	1,070台	危機管理室		LED防犯等及び防犯カメラの設置	街頭犯罪発生を抑止を目的として、市内に防犯カメラを設置します。	完了
2-2-3	安心・快適・便利に暮らせる大都市に隣接した居住地にする	若い世代が安心して暮らせる大都市に隣接した居住地にする	見守りののべ人数	小学校 17校 各校 200日 25人	小学校 17校 各校 200日 30人	市立全14小学校等で地域の実態に応じて実施。各校 200日 28人	学校教育課		登下校の見守り活動	市立小学校に通う子どもたちの登下校の安全を守るために、PTA及び地域のボランティアの協力を得て、見守りの活動の取組を促進・支援します。	継続
2-2-4	安心・快適・便利に暮らせる大都市に隣接した居住地にする	若い世代が安心して暮らせる大都市に隣接した居住地にする	「こども110番の家」運動協力家庭件数	1,623件 (H27)	1,660件	H30年度末 1533件	コミュニティ推進課		「こども110番の家」運動の推進	子どもたちが身の危険を感じた時に助けを求めることができるよう、通学路の沿道の地域の家庭・団体等の協力を得て、子どもの緊急避難場所としての役割を担う「こども110番の家」運動を推進します。	継続
2-2-5	安心・快適・便利に暮らせる大都市に隣接した居住地にする	若い世代が安心して暮らせる大都市に隣接した居住地にする	安全対策を実施する市立小・中学校数	25校 (内訳) 小17校 中8校	23校	21校 (内訳) 小13校 中7校 義務教育学校1校	教育総務課	保健給食課	市立小・中学校における安全対策	児童の安全対策として、市立全小学校において授業時間中のオートロック警備を実施するとともに、登下校時の校門付近への警備員配置し、市立中学校においても原則20時までの有人警備による施設警備のほか、下校時には、小学校通学路での横断歩道における見守り警備を実施します。	継続
2-3-1	安心・快適・便利に暮らせる大都市に隣接した居住地にする	子育て親子が安心・快適に出かけられるまちづくりを推進する	①地域の核となる公園の再整備数。 ②公園再整備計画の策定。	①0箇所 (H27) ②再整備計画未策定 (H27)	①1箇所 (大枝公園) (H30) ②再整備計画の策定 (H29)	①1箇所 ②再整備計画未策定 (R1策定予定)	公園課		公園の計画的な整備・改修	老朽化した公園を魅力的なものにするために、公園周辺の地域性や公園利用者のニーズを踏まえて、子どもたちがのびのびと遊べる工夫や、芝生の整備や自然を感じられる工夫など、計画的な公園の整備・改修を実施します。	新規
2-3-2	安心・快適・便利に暮らせる大都市に隣接した居住地にする	子育て親子が安心・快適に出かけられるまちづくりを推進する	子どものための、運動教室等の開催回数。	0回 (H27)	少なくとも1回	1回	公園課		公園をより魅力的な場とする運営	公園をより魅力的な場とするために、様々な運動や遊びを教えるスタッフによる、スポーツを楽しむ、親子がのびのびと外で体を動かすなどの機会を提供します。	新規
2-3-3	安心・快適・便利に暮らせる大都市に隣接した居住地にする	子育て親子が安心・快適に出かけられるまちづくりを推進する	自然に親しめる場所に関する情報提供の回数。	0回 (H27)	4回	4回	公園課		身近な自然に親しめる機会の充実	淀川や鶴見緑地など身近で自然に親しめる場所・スポットの情報をわかりやすく発信します。また、親子が身近な自然に親しめるような機会を提供します。 ・地域住民や開発者等の協力を得て、まちなかにおける小さな緑を増やします。	新規

平成30年度 守口市まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置づける取組一覧

資料3

取組No.	基本目標	基本的方向	指標の名称 (KPI)	初期値 (年度)	めざす値 (H31)	実績値 (H30)	主担当 課	関係課	具体的な取組	具体的な取組の文章	区分
2-3-4	安心・快適・便利に暮らせる大都市に隣接した居住地にする	子育て親子が安心・快適に出かけられるまちづくりを推進する	・町会等による公園美化の活動団体数。	99団体 (H27)	100団体	91団体	公園課	環境政策課	公園やまちを美しく保つための取り組み	・まちの美しさはまちのイメージに影響することから、公園利用者や地域住民等との連携・協力により、公園やまちを美しく保つための活動の充実や、ペットのマナーの向上に取り組みます。	継続
2-3-5	安心・快適・便利に暮らせる大都市に隣接した居住地にする	子育て親子が安心・快適に出かけられるまちづくりを推進する	赤ちゃんの駅登録数	32箇所 (H27)	50箇所	36箇所	子育て支援センター		子育て親子が外出しやすい環境づくり	・子育て中の親子が外出しやすい環境づくりを進めていくために、授乳やおむつ交換ができる場所を無償提供する「赤ちゃんの駅」の設置を推進します。また、市内でのイベント開催にあたり移動式「赤ちゃんの駅」を貸出します。	拡充
2-3-6	安心・快適・便利に暮らせる大都市に隣接した居住地にする	子育て親子が安心・快適に出かけられるまちづくりを推進する	守口市域における自転車の事故件数	216件 (H26)	195件	210件 春・秋の全国交通安全運動に伴う啓発活動において、自転車駐車場指定管理者の協力を得て、サイクルシュミレーターやVRを活用した体験型の啓発活動を行った。	道路課		交通安全啓発の推進	・歩行者の安全を確保するため、守口市自転車の安全利用の促進に関する条例に基づき、自転車の交通に係る事故を未然に防止するため、必要な教育、啓発活動及び広報活動を実施します。	拡充
3-1-1	様々なしごとの場を身近で提供する	企業のビジネスの発展を支援する	市内に立地している中小企業に対して事業拡大等を支援するため実施した国・府による関連支援制度の説明会等の開催回数	2回 (H26)	2回	1回	地域振興課		中小企業の事業拡大の支援	・市内に立地している中小企業に対して自社製品・サービスの開発や新規分野の開拓など新たな事業展開の取り組み等を支援するため、国・府による関連支援制度の説明会を開催するなど、「もりかど産業支援機関ネットワーク」による中小企業に対する支援を充実します。	継続
3-1-2	様々なしごとの場を身近で提供する	企業のビジネスの発展を支援する	東大阪市にある国内最大級の常設展示場MOBIOや守口門真商工会議所が主催又は共催する展示商談会に出展した市内企業数	19社 (H26)	のべ137社	MOBIO及び商工会議所が主催又は共催する展示商談会に出展。 H30年度実績 20社 (内訳) MOBIO 5社 商工会議所ビジネスチャンス8社 勸業展7社 ※補助を得ている企業なし	地域振興課		ものづくり企業のビジネスチャンスの拡大支援	・ものづくり企業のビジネスチャンスの拡大を支援するため、東大阪市にある国内最大級の常設展示場MOBIOへの出展経費及び守口門真商工会議所が主催又は共催する展示商談会への出展経費の一部を補助します。	拡充
3-1-3	様々なしごとの場を身近で提供する	企業のビジネスの発展を支援する	イベントや商業まつり、インターネット等を活用した情報発信、産学連携など、商店街等の活性化に向けた取り組みを支援した件数	8件 (H26)	のべ50件	商業振興事業支援補助金の交付。 H30年度実績：9件(商業まつり、イベント)	地域振興課		商店街等による賑わいづくりの取組への支援	・商店街等における賑わいづくりを支援するため、商店街等が実施するイベントや商業まつり、インターネット等を活用した情報発信、産学連携など、商店街等の活性化に向けた取組に係る経費の一部を補助します。	拡充
3-1-4	様々なしごとの場を身近で提供する	企業のビジネスの発展を支援する	人材育成のための講座や研修を実施した商店街等を支援した件数	0件 (H26)	5件	0件 商業振興事業支援補助金のメニューであり、人材育成を図るため、制度の周知を行っている。	地域振興課		商店街等による人材育成の取組への支援	・商店街等における人材の育成を支援するため、商店街等が実施する人材育成のための講座や研修に係る経費の一部を補助します。	拡充

平成30年度 守口市まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置づける取組一覧

資料3

取組No.	基本目標	基本的方向	指標の名称 (KPI)	初期値 (年度)	めざす値 (H31)	実績値 (H30)	主担当課	関係課	具体的な取組	具体的な取組の文章	区分
3-1-5	様々なしごとの場を身近で提供する	企業のビジネスの発展を支援する	中小企業に対する経営力向上、課題解決等を支援するため、専門家による相談助言等の件数	未実施 (H27)	1,000件	平成28年度から守口門真商工会議所と連携して実施している守口中小企業総合支援事業において、各企業が抱える課題について、専門家を派遣し課題解決に努めている。 H30年度実績：57件	地域振興課		中小企業への支援の充実	・市内立地企業の経営力を向上し、事業活動の活性化につなげるため、関係機関と連携しながら、専門家による相談助言等を実施します。 ・様々な技術・商品・販路等を持ちながら、人材不足や後継者難等の課題を有するものづくり事業者等を支援するため、関係機関と連携しながら、専門家による相談助言等を実施します。	新規
3-2-1	様々なしごとの場を身近で提供する	新たな雇用を生み出す創業を支援する	創業・第二創業の予定者に対して、経営、財務、人材育成、販路開拓など創業に必要な知識が習得できるセミナー等の開催回数	2回 (H26)	2回	7回	地域振興課		創業・第二創業の予定者に対する相談や情報提供	・市内での創業・第二創業*をめざす方を支援するため、守口門真商工会議所や金融機関等との連携により、創業相談窓口を設置するとともに、経営、財務、人材育成、販路開拓など創業に必要な知識が習得できるセミナー等を開催します。 *第二創業 第二創業とは、既に事業を営んでいる中小企業・小規模事業者・特定非営利活動法人において、後継者が先代から事業を引き継いだ場合などに、業態転換や新事業・新分野に進出すること。	継続
3-2-2	様々なしごとの場を身近で提供する	新たな雇用を生み出す創業を支援する	新たな雇用の創出及び市内商店街の活性化を図るため、空き店舗の活用を支援した件数	未実施 (H27)	のべ42件	大阪府が空き店舗対策として実施する「商店街等エリア魅力向上モデル事業」に本市も参加すべく、各商店街に参加の意向調査を行ったところであるが、参加の意思を表明する商店街はなかった。 H30年度実績：0件	地域振興課		商店街空き店舗における創業支援	・新たな雇用の創出及び市内商店街の活性化を図るため、空き店舗を活用して創業等を行う方に対しての支援を検討します。	新規
3-3-1	様々なしごとの場を身近で提供する	ワーク・ライフ・バランスをとりやすい職場を増やす	ワーク・ライフ・バランスのとれた職場づくりに取り組んでいる市内立地企業数	未調査 (H27)	のべ50件	テレワークオフィス利用企業 9社 働き方改革の推進のため設置しているテレワークオフィスの活用促進のため、周知を行っている。 企業訪問 20件 現地説明 3件 人権セミナー等 156件	地域振興課		ワーク・ライフ・バランスのとれた職場づくりに向けた相談や情報提供	・有給休暇の取得、長時間勤務の抑制、子育てや介護と仕事の両立など、しごとと家庭とのバランスのとれた職場を増やすため、関係機関との連携による各種の制度導入に呈する助言やワーク・ライフ・バランスに関する情報提供を実施します。	新規
3-3-2	様々なしごとの場を身近で提供する	ワーク・ライフ・バランスをとりやすい職場を増やす	ワーク・ライフ・バランスのとれた職場づくりに取り組んでいる市内立地企業数	未調査 (H27)	30社	テレワークオフィス利用企業 9社 窓口等にワークライフバランスの冊子を設置し企業に啓発を実施。	地域振興課		ワーク・ライフ・バランスのとれた職場づくりを進めている市内立地企業の魅力発信	・ワーク・ライフ・バランスのとれた職場づくりに積極的に取り組んでいる市内立地企業を把握し、職場の魅力を広く情報発信します。	新規

平成30年度 守口市まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置づける取組一覧

資料3

取組No.	基本目標	基本的方向	指標の名称 (KPI)	初期値 (年度)	めざす値 (H31)	実績値 (H30)	主担当 課	関係課	具体的な取組	具体的な取組の文章	区分
3-4-1	様々なしごとの場を身近で提供する	若い世代の就業を支援する	関係機関が実施する市内立地企業の合同企業就職面接会の開催等の支援数	1件 (H27)	5件	1件 ※その他、地元企業と就職希望者をマッチングするセミナーの開催がある	地域振興課	生活福祉課	守口市に立地する企業の人材確保や高校生・大学生等の求職者の就職促進を図るため、関係機関が実施する合同企業就職面接会の開催等を支援します。	拡充	
3-4-2	様々なしごとの場を身近で提供する	若い世代の就業を支援する	母子家庭等高等職業訓練促進給金利用者数 母子家庭等自立支援教育訓練給付金利用者数	7人 (H26) 1人 (H26)	12人 5人	6人 6人	子育て支援課		母子家庭に対する資格取得のための給付金の支給	・母子家庭の母等の就労を支援するため、専門的な資格(看護師、介護福祉士、保育士、理学療法士、作業療法士)を取得するのに要する費用の一部について助成します。また、職業訓練を行う指定講座を受講するのに要する費用の一部についても助成します。	拡充
3-4-3	様々なしごとの場を身近で提供する	若い世代の就業を支援する	体験日数と、事業所数(保育園・幼稚園・小学校を除く)	8校で、 のべ19日 のべ322事業所	 のべ24日 のべ400事業所	市立中学校・義務教育学校(後期課程)全8校で のべ19日 のべ374事業所	学校教育課		守口市で学ぶ子どもたちに対するキャリア教育の実施	・各中学校区の「めざす子ども像」に準じた9年間のキャリア教育全体計画をもとに、サービス業をはじめとした様々な企業等の協力を得ながら、中学2年生での職場体験を実施・支援します。	拡充
4-1-1	守口市の魅力を高め、発信し、守口市を誇りに思う市民を増やす	守口市の魅力を発信する	ホームページのアクセス件数	327,508 (H26)	600,000	1,289,058	広報広聴課		守口市の魅力を広く発信するシティプロモーション活動の展開	・守口市のイメージアップのために、若い世代の住民や事業者の意見を取り入れて、守口市の魅力を発信していくための計画を策定するとともに、行政・住民・事業者等が連携・協力して様々なことに取り組むことができる体制をつくります。 ・守口市の住み良さなどの魅力が広く知られるように、データや動画、ホームページ、SNS、ブックレットなどを活用してわかりやすく情報発信します。	拡充
4-1-2	守口市の魅力を高め、発信し、守口市を誇りに思う市民を増やす	守口市の魅力を発信する	シンボルキャラクターの認知度	未実施 (H27)	100%	100%	広報広聴課		市のシンボルキャラクターを活用したイメージアップの取組	・市制70周年に向けて、市のシンボルキャラクターを公募・選定し、市のイメージアップ等に取り組めます。	完了
4-1-3	守口市の魅力を高め、発信し、守口市を誇りに思う市民を増やす	守口市の魅力を発信する	公園における地域交流イベントの数	60件 (H27)	60件	31件 ※大枝公園で別途150件のイベントがあるため合計181件 本部会議で農場部長から着弁あり	公園課		市民が守口市に愛着・誇りを感じる機会づくり	・住民交流を深め、公園への愛着を高めるために、地域団体等が公園を利用して行う住民交流などのイベントの開催を支援します。	継続
4-1-3	守口市の魅力を高め、発信し、守口市を誇りに思う市民を増やす	守口市の魅力を発信する	各種イベントの開催数	未実施 (H27)	8回	1回 平成29年度に作成した守口宿のパネルを活用して、庁舎1階の展示スペースでのパネル展示やイベント開催時のパネル展示を実施し、守口宿の魅力発信を行った。 展示期間 90日間	地域振興課		市民が守口市を愛着・誇りに感じる機会づくり	・市民が守口市の魅力を再発見できるように、東海道五十七次などの歴史・文化にふれられるようなまちあるきや、フォトコンテストなどの機会を検討します。	新規
4-1-3	守口市の魅力を高め、発信し、守口市を誇りに思う市民を増やす	守口市の魅力を発信する	大使が市のイベント等に出演した回数	未実施 (H27)	18回	6回	広報広聴課		もりぐち夢・未来大使の任命	・努力で自分の夢をつかんだ、市に縁のある人を大使に任命し、イベントや自身のブログなどで市民とふれあってもらうことで、市民(特に子どもたち)に夢を持って進んでいく勇気をもってもらうことを発信します。	新規

平成30年度 守口市まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置づける取組一覧

資料3

取組No.	基本目標	基本的方向	指標の名称 (KPI)	初期値 (年度)	めざす値 (H31)	実績値 (H30)	主担当課	関係課	具体的な取組	具体的な取組の文章	区分
4-1-4	守口市の魅力を高め、発信し、守口市を誇りに思う市	守口市の魅力を発信する	地域担当職員数	0人 (H27)	9人	3人	コミュニティ推進課	人事課	守口市の地域毎の様々な魅力情報を把握・発信するための取組を検討・発信する取組	・地域で活動している様々な団体等とつながりを持ち、地域毎の魅力情報を把握・発信するための取組を検討します。	新規
4-2-1	守口市の魅力を高め、発信し、守口市を誇りに思う市民を増やす	守口市の魅力に出会う機会をつくる	・公募型協働事業提案制度による実施事業数 ・(仮称)地域コミュニティ協議会数 ・広報もりぐちへの(仮称)地域コミュニティ協議会に関する特集記事の掲載回数	2事業 (H26)	25事業	0事業	コミュニティ推進課		若い世代が「守口市の未来を語りあう」場づくりと活動実践の支援	・若い世代が未来に希望を抱ける魅力ある守口市にするため、若い世代が守口市の未来を語りあう機会・場を提供するとともに、協働事業提案制度などを活用して、若い世代による地域活性化の企画・取組を支援します。	新規
4-2-2	守口市の魅力を高め、発信し、守口市を誇りに思う市民を増やす	守口市の魅力に出会う機会をつくる	各種イベントの開催数	未実施 (H27)	4回 (H31)	5回	地域振興課		魅力的なイベントの開催	・守口市の様々な地域資源を活用し、市民や関係団体との協働により、若い世代が魅力的に感じるイベントの開催を検討します。イベントを通じて、「守口市を知る人」を増やすとともに、守口市の魅力にふれることにより「また来たい」「住んでみたい」と思ってもらえるように、来訪者と守口市との関係づくりを促進します。	新規
4-2-3	守口市の魅力を高め、発信し、守口市を誇りに思う市民を増やす	守口市の魅力に出会う機会をつくる	入館者の増加	入館者数2,152人 (H26)	入館者数2,500人 (各年)	入館者数3,226人	生涯学習・スポーツ振興課		魅力拠点と来訪者の滞在環境の整備	・もりぐち歴史館「旧中西家住宅」などの守口市内の魅力拠点を適切に維持管理しながら、有効活用を検討します。	拡充
4-2-3	守口市の魅力を高め、発信し、守口市を誇りに思う市民を増やす	守口市の魅力に出会う機会をつくる	民泊としての登録数	未実施 (H27)	12件 (H31)	0件 カラーバーコードを備えた守口市観光ガイドによる情報発信を継続して実施。	生涯学習・スポーツ振興課、地域振興課		魅力拠点と来訪者の滞在環境の整備	・もりぐち歴史館「旧中西家住宅」などの守口市内の魅力拠点を適切に維持管理しながら、有効活用を検討します。 ・守口市への来訪者に対する情報提供(案内地図、案内表示)を充実するとともに、情報通信環境(Wifi等)の整備を検討します。 ・国家戦略特区における民泊についての規制緩和の動向を把握し、守口市における展開方策を検討します。	新規
4-3-1	守口市の魅力を高め、発信し、守口市を誇りに思う市民を増やす	守口市の元気拠点を整備する	多目的広場を利用したイベントの日数	32日/年 (H26)	48日/年	50日/年(市) 60日/年(トークティ守口)	道路課、都市計画課、地域振興課		守口市駅周辺の魅力づくり	・本市のイメージや魅力を高める「守口市の顔」として駅前空間を有効活用できるように、そのあり方や活用方法を検討します。	拡充
4-3-2	守口市の魅力を高め、発信し、守口市を誇りに思う市	守口市の元気拠点を整備する	・地域コミュニティ拠点施設整備数	0施設 (H27)	1施設	3施設	コミュニティ推進課		地域コミュニティ拠点施設の設置	・地域におけるコミュニティ活動を活発化するための拠点施設として、地域コミュニティ拠点施設を市内3か所(東部・中部・南部)に整備します。	新規

平成30年度 守口市まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置づける取組一覧

資料3

取組No.	基本目標	基本的方向	指標の名称 (KPI)	初期値 (年度)	めざす値 (H31)	実績値 (H30)	主担当 課	関係課	具体的な取組	具体的な取組の文章	区分
4-3-3	守口市の魅力を高め、発信し、守口市を誇りに思う市民を増やす	守口市の元気拠点を整備する	活用等の検討会議(重要資産連絡会)の開催数	1回 (H27)	1回	2回	財産活用課		用途廃止後の公共施設の跡地や建物を活用した魅力拠点づくり	・用途廃止後の公共施設の跡地や建物の活用にあたっては、都市イメージを高め、にぎわいを創出できる空間・施設となるよう、民間活力の活用などを含めた整備内容や整備手法を検討します。	拡充
4-3-4	守口市の魅力を高め、発信し、守口市を誇りに思う市民を増やす	守口市の元気拠点を整備する	若い世代の市民協働・交流の参加者数	未実施 (H27)	141,000人	新庁舎における市民協働・交流スペースの利用者数については、算出不可	総務課		新庁舎における市民協働・交流スペースの提供	・市民の安全と安心を守る防災拠点にふさわしく、人と環境にやさしい、市民に開かれ親しまれる庁舎の整備を図ることを基本理念とし、市民が気軽に立ち寄り、交流を深めることができるよう様々な市民交流や市民活動に開かれた庁舎を整備します。	完了